

# モバイルホルダー (Air クッション + Qi ワイヤレス + USB 充電モデル) 取扱説明書

製品番号 08-01-0217

適応車種 汎用 DC12V ~ 24V (パイプ径Φ 22/ Φ 25.4)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

◎アルマイト製品は経年劣化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責任を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品及び取り付けした機器に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎万一に備え、取り付けした機器が脱落する事が考えられますので、補助的にストラップ等を取り付けて下さい。落下等で損傷しても機器の保証は一切負いかねます。
- ◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎補修部品につきましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。  
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎スマートフォン及びスマートフォンアクセサリの条件を含め実際のサイズをご確認下さい。  
ホールド及び充電に対する条件がある事を予めご了承下さい。  
例えばスマートフォンケースが分厚く Qi ワイヤレス充電が出来ない等。その場合は USB での充電で対応して下さい。
- ◎ホールド時にスマートフォンのカメラの露出に関して条件は含まれていません。予めご了承下さい。
- ◎バッテリーレス車、6V バッテリー車には使用出来ません。
- ◎取り付け後も専用工具は大事に保管して下さい。
- ◎アクセサリ電源でご使用の場合は最後に充電 ON 又 OFF 状態が記録している為、再度キー ON した際は前回の状態になります。
- ◎USB 充電で使用する場合は、予め USB コードをご準備下さい。
- ◎充電する場合は必ずエンジン始動状態で行う事を推奨します。

## ～特徴～

- パイプ径Φ 22/ Φ 25.4mmに取り付け可能なスマホホルダーです。  
縦幅 125mm ~ 197mm、横幅 65mm ~ 94mm、厚み 17mm、上下左右と幅広く調整式のホルダーを採用。
- モバイルホルダーの背面には Air クッションを採用する事でエンジン振動や路面からのギャップを低減する事が可能になり、スマートフォンの破損リスクを低減する事が可能。
- ホルダーにはアクションカメラ用のブラケットを装着出来る様にしており、拡張性に優れています。
- ワイヤレス充電と USB 充電 (ON/OFF スイッチ付き) が使用可能。出力 Qi 15W/USB (type-C) 36W
- クランプ部はボールジョイントを採用し 3D 角度調整が可能で自由度があるうえ盗難防止構造を採用しており、専用工具でクランプ部を固定する事で簡単に外す事が出来ない仕様になっています。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。  
(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。  
(部品の脱落の原因となります。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶつたりすると、窒息の恐れがあります。)
- 運転中のスマートフォンの操作やながら運転はしないで下さい。(事故及び法的に罰せられます。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

①



番号	部品名	個数	リペア品番
1	モバイルホルダー本体 (USB 電源 / ヒューズ 5A 付き)	1	_____
2	パイプスペーサー (Φ 22 用)	1	_____
3	パイプスペーサー (Φ 25.4 用)	1	_____
4	パイプクランプ	1	_____
5	ソケットキャップスクリュー 5x15	1	00-00-0041 (4ヶ入り)
6	ラバープレート 12x80x t0.5 (両面テープ付き)	1	_____
7	Lレンチ 4mm	1	_____
8	専用工具	1	_____
9	結束バンド 150mm	2	00-00-0135 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。

使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

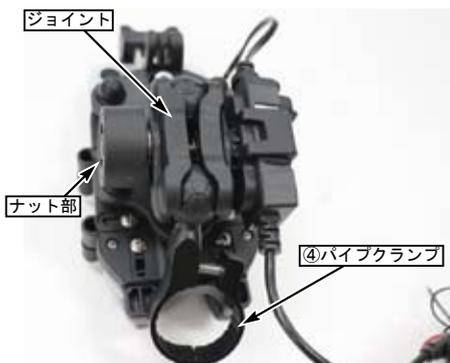
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○①モバイルホルダー本体に使用予定のスマートフォンを装着する際に上下のアームの調整を行います。必要に応じてアームが上下左右動く程度にネジを緩め調整を先に行います。※後でこの作業をするとスペースが無くなり、ネジを緩めたり締めたり、出来なくなる可能性があります。

※アームが動かない程度に締めて下さい。締めすぎると樹脂部が変形し固定出来ない可能性があります。注意して下さい。



○①モバイルホルダー本体と④パイプクランプのボール部に入る様、ジョイントのナット部を緩め挟み込みます。軽く動く程度に仮止めします。



○取り付けたい箇所にハンドルパイプの外径に合った②又は③パイプスペーサーを取り付けます。必要に応じて⑥ラバープレート 12x80x t0.5 を巻いて使用します。



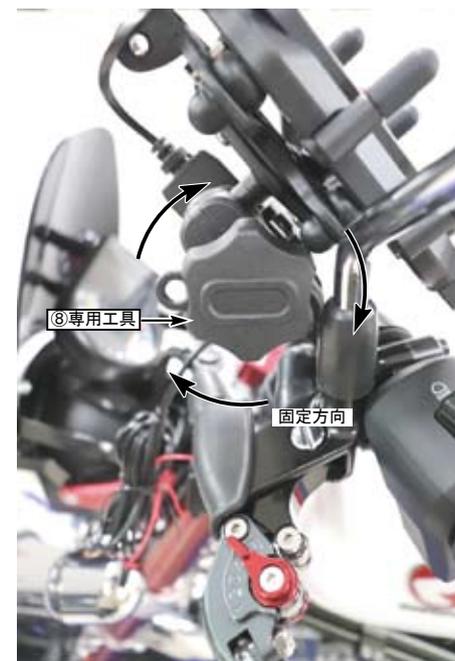
○②又は③パイプスペーサーを挟む形で④パイプクランプを取り付け⑤ソケットキャップスクリュー 5x15 を規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：2N・m (0.2kgf・m)



○①モバイルホルダー本体の角度や位置を調整しジョイント (USB 電源付き) のナット部を⑧専用工具で締め込みしっかり固定出来る事を確認します。

※USB コードの差し込み口から電源を取りたい場合は、USB 差し込み口が下側又は横に向く様に取り付ける事を推奨します。



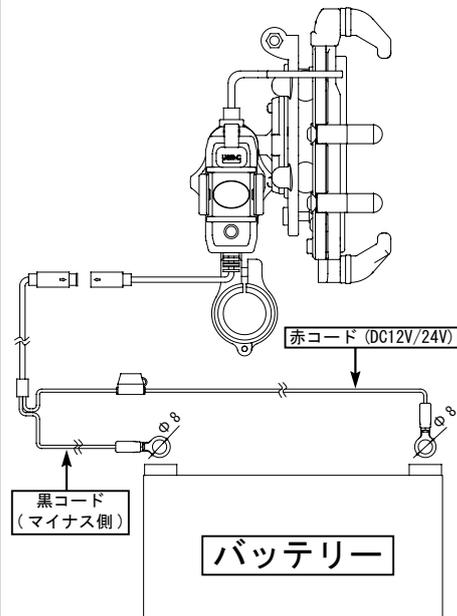
○①モバイルホルダー本体が固定出来れば、コードのコネクタ部の矢印マークとUSB 電源から出ているコネクタ部の矢印マークを合わせて差し込み、車両に合わせ配線を這わせませす。必要に応じて⑨結束バンド 150mm を使用し束ねます。



○配線図を参考に赤コード (DC12V/24V) と黒コード (ボディーアース又はバッテリーマイナス) に接続します。

※使用しない場合は、ボタンを単押し充電機能がOFF (OFF 時はLED 消灯) になっている事を確認して下さい。バッテリー上がりの原因に繋がります。

※USB 充電しない場合は、必ずキャップをコネクタ部にしっかりはめて下さい。



○上側のアームに写真の様に斜めにスマートフォンを入れます。

※走行時予期せぬ事態でスマートフォンが脱落しない様にストラップ等を使用する事で保険になります。



◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDF データーでアップしております。印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

